

2021年6月14日

各位

会社名 株式会社ア ス テ ム
代表者名 代表取締役社長 吉村 次生
問合せ先 取締役常務執行役員
R&D 本部長 土田 哲也
(Tel 092-409-1624)

学校法人 産業医科大学との共同研究に関するお知らせ

当社は、学校法人産業医科大学（以下、産業医科大学という。）と、地域包括ケアにおける健康増進モデル開発等に関する共同研究契約を締結しましたのでお知らせいたします。

記

1. 共同研究の背景

地域包括ケアの考えである地域完結型医療への転換が加速度的に進む中、地域の医療課題を産官学が連携して解決する動きが各地域で見え始めてきております。膨れ上がる医療費の抑制、過疎化等に伴う医療リソースの減少、行政のマンパワー不足など、今後の地域医療体制の維持、地域住民の健康増進を考えると、自治体や保険者及び医療者との情報共有・連携はますます重要となってきております。

当社は、地域ごとに異なる医療課題の解決を支援する事を目的に、2016年よりリエゾン活動*をスタートさせました。この活動を通して、各ステークホルダーの橋渡し役となり、時には主体的な活動を通して、わが町の課題はわが手で解決していくという一体感、機運を醸成していくような活動を積極的に展開しております。

*リエゾン活動・・・当社のリエゾン活動とは地域医療を守るために、保険者、医療者等の各ステークホルダーを橋渡しする活動を言います。直近では2019年度は、多職種連携の活動支援や医療者向けの疾患啓発活動、市民向け公開講座等、合計327事業を各地で展開してまいりました。2020年度の前半はコロナ禍蔓延による活動自粛に追い込まれましたが、後半はリアル活動からオンライン活動へと形を変え、合計168事業を展開できるまでに回復させることができました。今年度は、より進化させたリアルとオンラインのハイブリッド型リエゾン活動を各地で展開していく予定です。

2. 共同研究の目的

この度、当社は、リエゾン活動をさらに進化させ、持続可能な取り組みにする事を目的に、産業医科大学と地域包括ケアにおける新たな健康増進モデルを開発する共同研究を行うこととしました。2020年に株式会社データホライズンと当社で設立した株式会社ブリッジでは、産業医科大学との協業を試験的に進めておりましたが、昨今のコロナ禍において患者・生活者の受診行動が大きく変化していることを踏まえ、今回あらためて共同研究の対象領域を広げ、コロナ収束後の地域課題の解決を支援するモデル開発に取り組んでいきたいと考えております。

3. 共同研究の主な内容

- ・ 予防・重症化予防を目的とした疾病管理モデルの開発の研究
- ・ 保険者とかかりつけ医の予防連携モデルの研究
- ・ 地域医療構想における連携支援の研究
- ・ 新しい生活様式における地域包括ケア推進モデルの研究

4. 研究実施予定期間：2021年4月1日から2024年3月31日まで

5. 産業医科大学について

産業医科大学は、働く人々の健康を守ることを目的として創設された医科大学です。同大学はデータに基づいた労働者の健康管理手法の開発と実践を行っています。また、DPCデータやレセプト等のデータに基づく、臨床研究、医療介護連結研究、地域医療構想を始めとした地域医療研究などの政策研究を行っております。情報科学、疫学、統計学の分析技術を用いて、医療・介護レセプトや産業保健領域のビッグデータを解析することを得意領域としており、その成果の多くは国や地方自治体の公衆衛生行政にも採用されています。

大 学 名	学校法人 産業医科大学
学 長 氏 名	学長 尾辻 豊
住 所	〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号
設 立 年 月	昭和 53 年 1 月

6. 当社概要

企 業 名	株式会社アステム		
代 表 者 氏 名	代表取締役社長 吉村 次生	URL	https://www.astemf.jp
本 社 住 所	〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3 丁目 1-2 東比恵ビジネスセンター		
設 立 年 月	昭和 23 年 5 月	資本金	33 億 5,500 万円
従 業 員 数	1,601 人		

2021年3月31日現在

以上